

# 年頭所感

会長 長瀬 清



会員ならびにご家族の皆様には、平成28年の新年を最良の年にと願いお迎えのことと存じます。心からお慶びを申し上げます。

昨年も日本ばかりか世界中で様々な自然災害が多発しました。札幌でも62年ぶりという大雪が11月後半にありましたが、ここ数年諸所で100年に一度という災害が続いています。地球温暖化のため、シベリアでは凍土が溶け表土の陥没が生じておりますし、海面上昇でベトナムでは海岸が120メートルに及び水没し街がなくなってしまうとも聞きます。COP21の会議で数値目標は決められませんでした。各国の同意がなされたことは喜ばしいことです。

昨年末、安倍首相は「一億総活躍社会」を目指し新たな「3本の矢」を放ちました。経済の活性化(GDP600兆円)、出生率1.8、介護離職者ゼロの3本です。平成25年就任当初デフレ脱却を目指しアベノミクスの3本の矢が放たれ2年が経ちました。結果は思ったほどではありませんでした。新3本の矢が起死回生の策となることを心から期待しています。

国は医療を経済活性化の有力な手段として考えています。日本医師会は以前から医療は雇用を増し、国の経済に寄与していると主張してきました。しかし、国はもっと積極的に、医療の活用を意図しています。医療ツーリズムや国外への日本医療の進出、外国医師の業務解禁、営利企業の医療進出、営利目的の医療保険導入、混合診療の全面解禁等です。また、医師不足にかこつけた新規医育機関の新設など現状把握と将来見通しに欠けた政策遂行が目立っています。われわれは医療の間違った目的での活用には断固として反対をしていかなければなりません。

今年は診療報酬改定の年で、現在強く医療側の意見を主張しています。前回の改定はマイナス改定となり、消費税の負担も相まって苦しい経営を強いられました。中医協の医療経済実態調査にみられるように大病院は赤字幅を増し、診療所や小病院は大病院程ではありませんでしたが、やはり赤字となり苦境にあえいでいます。医療機関に余裕がなければ国民に良い医療を提供できません。日医はこのままでは医療が崩壊してしまうと、危機感を強く訴えています。前回改定で薬価引き下げ分が診療報酬の財源に充てられなかったことは致命的でした。今年は是非とも全額医療財源に回すよう強く要求すべきです。

また、控除対象外消費税は根本解決がなされてい

ません。今回の改定でも確り診療報酬で手当てされなければ、病院の赤字はますます増加するでしょう。

医療介護総合確保推進法により進められている地域医療構想策定は地方の事情が様々で難航しています。無理な病床の分化を進めるのではなく、人口減少、高齢化の急速な進行の中、自然の流れをみて対処することが必要でしょう。

数年来懸案であった医療事故調査制度が昨年10月1日より始まりました。北海道で既に11月末日時点で12件の相談が寄せられています。制度の認識が深まれば更に数が増えるでしょう。北海道医師会は相談支援団体の要として、副会長、常任理事、理事1名の全18名が担当を割り当てられ24時間対応しています。医療事故原因究明のためにと懸命に取り組んでいます。

新専門医制度が昨年医大卒業の研修医から始まることになりました。来年研修を終えた後、専門の選択をしなければなりません。平成16年から始まった新医師臨床研修制度の開始時の二の舞にならないようにすべきです。また、それ以前に卒業した研修医および既に専門医として認定されている方々との整合性を如何に取るかが問題です。北海道医師会では、新制度の中心となる医育大学を含めて、行政、主たる研修病院とともに、この制度への対応を協議し良い仕組みを作るための組織作りを始めました。良い医者を育て、国民に良い医療を提供したいと思っています。

医師会は今、その他多くの難問、課題を抱えています。国民の健康を預かる医師の集団として、国に意見と要望を強く訴えていかなければなりません。そのためには、総ての医師が医師会に集結し、医師の総意を代表するのは医師会であると国にも一般国民にも認めてもらうことが重要です。それぞれよって立つところが異なっても医療の上で求めるものは同じです。医師会への加入勧誘を懸命に行っています。ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

今年は日本医師会役員選挙が行われます。北海道医師会では会員の皆様の総意によって対応していきたいと考えています。

また、参議院議員選挙が行われます。医療の将来を考える良い機会でもあります。

会員の皆様とともにこの一年頑張りたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# CONTENTS

北海道医報  
平成28年1月1日 第1168号

年頭の辞／年頭所感	長瀬 清	2
年頭所感	横倉 義武	4
年頭所感	高橋はるみ	6
年頭にあって	村木 一行	7
医の倫理綱領		9
生涯教育シリーズXXI／潰瘍性大腸炎の標準的診断と治療	桂田 武彦	10
報告／保険医療医師研修会	橋本 洋一	13
報告／「医学生・研修医と語る会」	藤井 美穂	14
報告／平成27年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	藤井 美穂	16
報告／公明党北海道本部政策懇談会	笹本 洋一	19
報告／第95回北海道医学大会総会	櫻井 晃洋	20
日医報告／平成27年度家族計画・母体保護法指導者講習会	丸山 淳士	38
第42回 全道医家囲碁大会		40
最新・医事紛争Q & A／患者からの電話相談	黒木 俊郎、加畑裕一朗	44
税務相談室／不動産所得	中村 孝一	46
北海道医歌人会詠草		47
日本医師会綱領		48
特集／新春随想		49
ポラリスを仰ぐ北の大地から	石澤 秀明、藤原 正文	68
大通公園を望む窓辺から	三戸 和昭、古屋 聖児	69
医学会・医学講演会等 開催情報		70
中央70 道南73 後志74 日胆74 空知75 道北75 北見75 道東76		
その他開催情報		77
日医認定産業医制度研修会開催一覧		78
日医認定健康スポーツ医制度再研修会開催一覧		78
計報		79
新規指定医療機関		79
会議室／第17・18回常任理事会		80
道医の動き		84
売貸医院・医師招聘情報		86
道医師国保の頁		90
季節風／『再生』と『滅亡』の物語	橋本 洋一	102

## お知らせ

北海道ドクターズゴルフ50周年記念大会開催のお知らせ（予告）<sup>39</sup>  
北海道医師会 育児サポート事業のご案内<sup>66</sup>／「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼について<sup>67</sup>／一生命保険「団体扱い」のお奨め<sup>67</sup>  
北海道医師会サポートセンター 窓口移設に伴う電話番号変更のお知らせ<sup>76</sup>  
ストレスチェック制度サポートダイヤルおよびQ&Aのご案内<sup>77</sup>／臨床研修指導医講習会における看護師の特定行為研修の指導者の参加への配慮について（お願い）<sup>85</sup>  
北海道医師会ホームページの会員優待サービスにmiki HOUSE通販サイトがOPEN！<sup>85</sup>  
研修会等への託児サービス併設費用の助成について<sup>89</sup>  
日本医師会作成『心肺蘇生法CAB+Dカード』について<sup>97</sup>／グループ保険のご案内<sup>101</sup>

北海道医師会会員数 8,296名 (+13)      うち日本医師会会員数 5,890名 (+18)  
A 2,480名 (+4)      B2 4,594名 (+12)      C2 149名 (-1)  
B1 600名 (±0)      C1 109名 (±0)      C3 364名 (-2)

平成27年11月30日現在 ( ) 内前月比

## 作品紹介

とちない ただお  
柄内 忠男 翼

1923（大正12）年～2009（平成21）年

札幌生まれ。  
1969（昭和44）年の作品。油彩・キャンバス（162.1×130.3cm）。

作者は戦後、北海道の洋画壇の中心を担うひとりとして、精力的に活動してきた画家である。  
北海中学校（現・北海高等学校）在校中に、同窓の先輩で独立展会員の菊地精二と知り合う。1944年に上京し、太平洋美術学校に学ぶが翌年、戦況悪化のため帰札した。

## 北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立近代美術館  
（札幌市中央区北1条西17丁目 011-644-6881）

以後、北海高校の教壇に立ち、美術部顧問として後進を育成する一方、1946年には全北海道美術協会展（全道展）創立展に参加、1955年から会員として活躍した。また、独立展にも出品を続け、1964年に会員となった。

抽象画による形や色彩の表現探求を重ねたが、1960年代末に「貝殻」というモチーフを得て、具体的なイメージによる表現の可能性を追求。その後も、モチーフ本来の形態を骨格に、自在な変容によって、独特な絵画空間を作り出している。

「貝殻」を主題に描き始めた頃の作品。空にぼっかりと浮かぶ翼は、波状に湾曲したシャコガイの形をイメージしている。